

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 3	多様な担い手を育成する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 3 - 1	力強い担い手づくり

2. 事業名等	
事業名	畜産経営基盤強化事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市
事業種別	④ ①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他 (事業費補助)
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度
根拠法規	豊後大野市畜産振興補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市農業振興計画
事業ID	

3. 事業の内容等											
事業の背景	<p>小規模農家が今後、規模の拡大する際や、新規就農者が畜産業に取り組む際の支援をする。</p>										
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>補助率</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	補助率	国	県	その他			1/	1/	1/
名称	補助率	国	県	その他							
		1/	1/	1/							
起債の種類	<table border="1"> <tr><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> </table>	①		②		③					
①											
②											
③											

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】	畜産農家が経営強化を図るため施設の整備を行うことを目的とする。	事業概要	畜産農家の経営強化を図るために畜産農家及び営農集団が行う施設整備に対し助成する。 [対象家畜] 肉用牛、乳用牛、養鶏、養豚、豊のしゃも [対象要件] ①飼養頭数の維持又は増頭を目的とする和牛飼養農家②新規畜産経営に取り組む農家、営農集団③耕畜連携により市内畜産農家の家畜排せつ物を処理するもの④規模の拡大を目的に行うもの [補助率] 補助対象経費の3分の1の額又は300千円のいずれか低い額の範囲内で予算で定める額
【対象】	肉用牛繁殖経営者	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		E	
		維持	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計		1,376	2,524	4,221	4,500	3,838	
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計		1,351	2,524	4,144			
	計		1,376	2,524	4,221	4,500	3,838	

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 [堆肥舎]1棟 [畜舎]1棟 [畜舎改築]2件 [機械導入]ロー ルベータ	【実績】 [堆肥舎]2棟 [畜舎]1棟 [給水施設]1件 [飼料倉庫]1棟 [機械導入]モア、ジョイローキ、マニアプロッタローラ ブ、ロールベータ、削蹄棒	【実績】 [堆肥舎]3棟 [畜舎]4棟 [飼料倉庫]1棟 [草地整備]1箇所 [放牧施設]2箇所 [機械 導入]ロールベータ1、ラッピングマシン2、ジョイローキ1、 ジョイントガ1、マニアプロッタ2、モア2	子牛の生産性向上や繁殖管理の徹底の推進も必要である。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値												
活動指標	助成額											
効率指標	-											
成果指標	① 規模拡大農家戸数 ② 新規畜産業就農者数										単位 戸、人	
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考					
種別				①	②	①	②	①	②	①	②	
目標値				9	1	20	1	20	1	20	1	
実績値				9	0	10	1					
達成率				100.0%	0.0%	50.0%	100.0%					
備考												

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	肉用牛の振興を図るには、規模拡大の推進及び新規就農者の育成が必要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	施設整備等に係る経費の一部を行政が補助しており、代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	肉用牛農家の経営改善及び新規就農促進にかなり高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	今後も同程度の事業が見込まれるため。				
人 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	肉用牛振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、補助金の交付額及び交付条件等の見直しを検討する。					
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	